

# おがみ 雄神地区活性化プラン アドベンチャーワールドおがみ推進事業



富山県砺波市雄神地区

# となみ 砺波市（概要）について

## 【みどころ】

日本最大 砺波平野の散居村



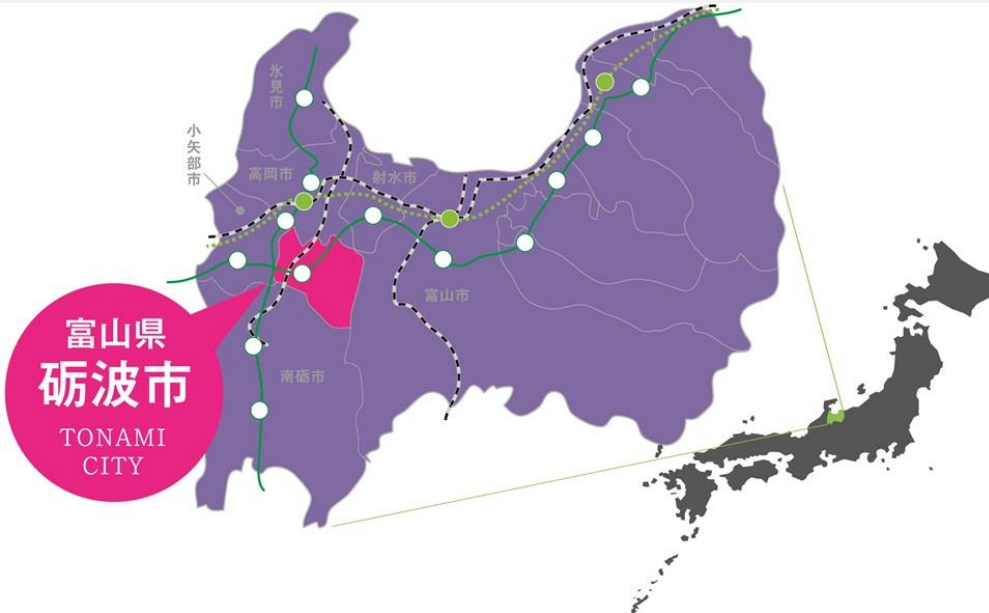
## 【特産品・味覚】

おおかど

チューリップ（球根・切花）、大門素麺、庄川ゆず、雪たまねぎ、越中三助焼き、三郎丸蒸留所ウイスキーなど

## 【その他】

出町子供歌舞伎曳山、となみチューリップフェア、となみ夜高まつり、となみ夢の平コスモスウォッチング、冬の庄川峡など



平成16年11月に砺波市と庄川町が合併

・面積：127km<sup>2</sup>  
（11番目/15市町村）

・人口：47,012人  
（4番目/15市町村）

※令和6年1月末時点

# 砺波市雄神地区について

雄神地区は砺波市の東部に位置し、庄川沿いの東西約2km、南北約5kmの集落で三つの自治会があります。

庄川の河岸段丘上に形成された当地区は、雄神川と谷内川に生まれ、古代から人々が定住、豊かな自然と史跡・文化財が多い地域です。

当地区の課題としては高齢化、人口減少が進み過疎化があります。子どもたちの人口も減り続け、令和5年3月に雄神保育所が閉所されました。

しかし、現在も住民には結束力があり、地域活動が活発に行われています。

(里山保全活動、公民館活動で全国表彰「地域包括ケア顕彰」受賞)

人口：701人

世帯：252世帯

(R6.1月末時点)



コミュニティの拠点 雄神集会センター



同センター内の「カフェおがみ」



イノシシ対策  
電気柵設置  
万里の長城作戦

ゼロ磁場の「山上の池」  
古来より「雨乞いの祈禱」場所



雄神神社は西暦80年の鎮座と伝えられている。弁財天社では33年に一度、雄神神社から「瀬織津姫神」を弁財天社に迎え、御開扉大祭が行われる。R5年に21回目が開催された。



2024/0

# 活性化に向けた話し合い事業

令和4年度「どうする雄神会議」を実施【中山間地域話し合い促進事業を活用】



第1回会議  
「地域の未来像について」



第2回会議  
「まち点検&  
アイデア大会」



第3回会議  
「みんなで作るアクションプラン」

## 「どうする雄神会議」で提案されたアクションプラン

1. 自然維持と文化財の活用 ①雄神の自然・史跡体験ツアー ②パワースポット巡り
2. 保育所利活用 ①雄神ネットワーク・コア施設整備事業 ②わくわく・アドベンチャーワールドおがみ連携推進事業  
③歴史・文化・食べ物を知ってもらう雄神青少年の家事業 ④カフェ・ライブハウス ⑤カムカム雄神事業
3. デジタル自治会推進事業

# アクションプラン

## アドベンチャーワールドおがみ推進事業

地域資源を有効に活用し地域の活性化を推進する。

### ①複合施設整備事業（旧保育所を地区の活性化の拠点として利活用）＜住民交流＞

- ・地区内外から気軽に集える交流施設
- ・子どもから高齢者まで楽しめる交流イベントを開催し、地域ににぎわいを創出する。
- ・高齢者の生活支援、子育て支援につながる事業を展開する。
- ・将来は雄神ネットワーク化と情報発信のコア施設とする。



### ②パワースポット雄神の発信事業＜自然体験・観光資源＞

- ・県内の他市町村に類がない文化遺産の保全を図るとともに、地区内外に文化財の情報を発信し、雄神を訪れてもらうことで地域の活性化を図る。
- ・遊歩道、案内看板の整備とロゲイニング等のイベントを企画する。



### ③デジタル自治会事業

- ・デジタル媒体を活用することによって、地域の安全・安心を図るとともに地域コミュニティを醸成する。
- ・防災・コミュニケーションアプリを導入する。

# 実行中のアクションプラン

## ●令和5年度の活動を踏まえた 令和6年度の取組み

### ①複合施設整備事業（旧保育所を地区の活性化の拠点として利活用）

令和6年度より保育所活用ワーキングチームを立ち上げる。

|       |          |         |            |
|-------|----------|---------|------------|
| 4月～8月 | 活用案検討    |         |            |
| 9月    | 活用案とりまとめ | 施設運営チーム | 地域福祉チーム    |
| 10月   | 住民説明会    |         | 住民活用チーム    |
|       |          |         | 貸し出スペースチーム |

### ②パワースポット雄神の発信事業（フィールドスタディ型政策協働プログラム）

令和6年度は東大生を加え、新プロジェクトメンバーで進める。

|       |                               |                |
|-------|-------------------------------|----------------|
| 5月～8月 | オリエンテーション・オンライン交流（2回）         | ・7月～8月現地活動     |
|       | 文化財・歴史の再確認、現地確認、散策エリア、コース決定   | 文化財保全、P R方法の検討 |
| 9月    | R7年度実施に向けスケジュール策定（遊歩道の整備、看板等） |                |

### ③デジタル自治会事業（“となみ地域力”推進事業）

|       |                  |
|-------|------------------|
| 4月～6月 | 「結ネット」申込み、管理者説明会 |
| 7月    | アプリのインストール及び運用開始 |
| 随時    | 住民説明会（高齢者）       |



保育所見学



まち点検 雄神神社



山上の池調査 R5.4

# フィールドワークにあたって

## 東大生の皆さんに取り組んでほしいこと

### アクションプラン②パワースポット雄神の発信事業

- ・県内の他市町村に類がない文化遺産の保全を図るとともに、地区内外に文化財の情報を発信し、雄神を訪れてもらうことで地域の活性化を図る。
- ・遊歩道、案内看板の整備とトレッキング、ロゲイニング等のイベントを企画する。

#### ○文化遺産の保全策

#### ○文化財の情報発信の方法・・・HP掲載、SNS以外の情報発信等

#### ○誘客の手法・・・トレッキング、ロゲイニング等の企画・立案

#### ○「山上の池」ゼロ磁場の検証



雄神誌 令和2年発行  
文化財掲載

山上の池調査 R4.4

※アクションプランのプロジェクトメンバーとの交流会を予定しています。

オンライン交流では、事業進捗状況について説明をしていきたいと思っています。

交流会を通じご質問、ご意見、ご提案等ありましたらお聞かせください。

# 雄神地区文化財マップ

## 自然と歴史に育まれた郷



**6** **元雄神社 庄川の守り神 弁財天社**  
 弁財天社は「元雄神社」とも言い、庄川流域の治水の女神として、流域の人々の崇拜を集めています。33年毎に行われる「御開扉」には10万人をこす参詣者で賑います。  
 天正13年(1585)の大地震で庄川の流れが大きく変わり、当時の地に鎮座していた雄神神社の境内地を残して周辺の村々が流されました。時の藩主前田利長が欲流の中に龍木が繁茂する島(境内地)を見て「水の神」である弁財天を祀るよう指示。雄神神社は東側山裾に移転し、庄川の守り神として神社の部分堂と弁財天を祀る「元雄神社」が創建されました。  
昭島市指定文化財(史跡)

**5** **中世の城跡跡 壇城・台所屋敷跡**  
 壇城跡は、城主の居館と山城がセットで残る。案内では珍しい中世城跡造です。庄居部分の台所屋敷からは、建物の柱や基礎に使われた石、表土層が広い範囲から発見されました。表土層は、築城の際の落城で火災が起こったためできたと考えられます。  
 山城では、堀切や土塁といった戦うための小規模施設が確認できました。南東の三ヶ山にある千代ヶ榎城と尾崎伝いの連絡路につながっていることから、平常時の城跡が城、緊急時に立てこもる城が千代ヶ榎城といった使い分けがされていたと推測されます。  
昭島市指定文化財(史跡)

**9** **加賀藩御用達の矢竹 矢竹禁伐林**  
 当地の矢竹は加賀藩より、軍用として高品質無虫と認められ、禁伐林とし保護されました。明治維新により禁伐林が解かれました。  
昭島市指定文化財(史跡)

**4** **南北朝期の馬蹄が残る 奇岩(馬蹄石)**  
 奇岩(馬蹄石)は、南北朝期の馬蹄の遺物を残しています。馬蹄の遺物は、馬蹄の蹄の跡を写したもので、馬蹄の蹄の跡を写したものとされています。  
昭島市指定文化財(史跡)

**3** **堀端せいのパワースポット 山上の池**  
 この池は千代ヶ榎城の飲料水としても使われ、高永(1648-)のころの雨乞いの古事からその名が知られています。早天候で作物が枯死寸前に達しており、古事曰く「山上の池は深さ幾十尺なるやも知らず、その底 銅ヶ池と通ず。この神祕な池に雨乞をしら...」村人にこれに従い、神降 藤井勇助主となり、真心こめて祈禱したところ、黒雲にわかにおり大雨となり、万物が生きたとつたえられています。  
昭島市指定文化財(史跡)

**2** **中世の典型的な山城 千代ヶ榎城跡**  
 庄川右岸の三ヶ山山頂に築かれた中山城です。扇原の土塁を中心として、東に東に伸びた尾根上に細長い段壁を配置し、堀切や塀を設けて防御しています。  
 南北朝期の応安2年(1369)9月、扇原方の松平時義が松井南方の築る千代ヶ榎城を攻陥しています。北にある城壁との関係から、戦国期に城壁を築成とした石原氏が築城として築いたとも考えられています。  
昭島市指定文化財(史跡)

**14** **旅人宿の裏庭に眠る 西住塚**  
 西行(もと北道の武士・佐藤常房)は、西住とともに関西をめぐったが、西住の郷里三谷村に立ち寄り、西住が病にかけかかると、西住の遺骸を石塚を築き、塚を築いて西住を祀りました。西住の遺骸を石塚を築き、塚を築いて西住を祀りました。西住の遺骸を石塚を築き、塚を築いて西住を祀りました。  
昭島市指定文化財(史跡)

**13** **谷内川流域の水神様 水宮社**  
 水宮社は谷内川の治水の水神として、平安初期(800頃)より創建されたと考えられています。  
 水宮社は総面積46ヶ所の社社であり、古くは、谷内川に架かる橋の両側に水宮社が建てられていました。祭神は水宮神社、これは、隠岐の国一宮の水宮神社の祭神であり、水宮社の石の神像が隠岐の国一宮の神主である部原氏によることから深いつながりを感じることができます。  
昭島市指定文化財(史跡)

**12** **航空機工場予定地 地下工場用トンネル跡**  
 金峰山の南麓には、南北朝時代の中山の山中に無数のトンネル型跡跡があります。これらはトンネル掘削跡は、戦後20年(1945)本土決戦に備えるために三菱11航空製作所の機材搬入のためにトンネルを掘削したものであり、寺は戦後移すために掘られたもので、跡跡跡まで工事が続き、全体完成率45パーセントで中止となりました。  
昭島市指定文化財(史跡)

**11** **金峰山金剛寺に由来する 金峰山 西蓮寺**  
 金峰山金剛寺は、南北朝時代の中山の山中に無数のトンネル型跡跡があります。これらはトンネル掘削跡は、戦後20年(1945)本土決戦に備えるために三菱11航空製作所の機材搬入のためにトンネルを掘削したものであり、寺は戦後移すために掘られたもので、跡跡跡まで工事が続き、全体完成率45パーセントで中止となりました。  
昭島市指定文化財(史跡)

**10** **杉の巨樹が二本林立する 恩光寺跡の二本杉**  
 恩光寺跡の二本杉は、もともとこの地にあった。その間杉は、後に新田氏(足利氏)の領地となり、杉の巨樹が二本林立する。杉の巨樹が二本林立する。杉の巨樹が二本林立する。  
昭島市指定文化財(史跡)

**7** **西暦80年(景行天皇10年)創建 雄神神社**  
 雄神神社は、庄地区にある神社です。通称「庄の宮」と言い、庄下3ヶ村の総社です。「雄神村」の名は、この神社の社名を取って名付けられました。奈良時代、歌人万葉集の「雄神河」の歌でも知られるように、この雄神神社にちなんで現在の庄川を「雄神川」と呼んでいたと考えられます。  
昭島市指定文化財(史跡)